

地方におけるインバウンド観光の将来像

～2020年のその先に～

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けてインバウンド需要は急激に増加している。消滅可能性都市を抱える宮城県南部は産学官が連携し2017年6月2,000名以上の台湾人客で賑わった。仕掛人は本セミナーの講師(株)侍の太見洋介氏。

このセミナーではインバウンド活動の具体的取組方法や、インバウンドがもたらす副次的効果として、地域活性化や持続可能なまちづくりについてお話しします。



講演内容

- インバウンド活動 「受入」「集客」「育成」
- 地域の若者を育てる
- 地方のポテンシャルを活かす観光産業
- インバウンドの最終目的 = 地方再生・活性化文化・伝統の継承

講師



株式会社侍 代表取締役
株式会社海族 DMC 代表取締役
ふとみ ようすけ

太見 洋介 氏

1977年生まれ、福島県出身。日本大学工学部 建築学科卒業。『三井アウトレットシリーズ』や『ららぽーと』を手掛ける(株)三井不動産(上海)に勤務し、中国にてアウトレット施設の開設・運営業務を成功させる。2015年独立。国内外の商業施設の販売促進コンサルタントや、国や地方自治体と連携したインバウンド事業を通して、出身地の東北の魅力・観光資源を世界に積極的に発信している。

日時 00年00月00日(○) 00:00～00:00

会場 ○○○○○○○○○ ○○○○○ ○○-○ TEL 000-000-000

受講料 ○○

定員 00名 (定員になり次第締め切り)

主催 ○○○○○○○○○ ○○○○○ TEL 000-000-000 FAX 000-000-000

(切り取らずにこのまま送信してください)

○○○○○○行

セミナー参加申込書

年 月 日

事業所名		F A X	
住 所		受講者名	
T E L		受講者名	

※本申込書にご記入頂いた個人情報につきましては、講演会に開催に係る受講者名簿の作成、出欠確認、講演会運営等に関する目的のみ使用します。